Department of Cultural Sociology

人間科学部

文化社会学科

身近な疑問を入り口に、社会について考える。

身近な文化や社会現象を調べて、
気になることについて考えます。
社会学の研究を通して分析力や観察力を身につけ、
あなたの好奇心を追究してみませんか。

FEATURES 学科の特徴

1 身近にひそむ疑問から、社会の幅広い分野について学びを広げる

音楽やファッション、観光、スポーツ、恋愛、SNS、ファン活動など、あらゆるテーマが学びの対象になります。まずは現代社会にあふれる多彩な文化を見渡しテーマを発見。自分の関心に沿って深く研究していくことで、楽しみながら学びを広げられます。

2 実際に調査してデータを収集 就職してからも生きるスキルを獲得する

事前準備から観察やインタビュー、収集したデータを使った分析まで一貫して自分自身で進めます。さまざまな考察をふまえて引き出した結論をわかりやすく人に伝えるためのプレゼンテーションの方法も学びます。学習を通じて主体的な行動力や発信力を磨きます。

3 興味・関心を追究して結論にたどり着く 応用可能な知性を身につける

素朴な疑問を研究テーマに発展させて学んでいくなかで、人や社会の多様性を理解する力が身につきます。学生が主体となって行うフィールドワークでは、物事を新たな視点から分析する思考力や、相手を知るためのコミュニケーション能力を育みます。4年間の学びが、社会で生きる力につながります。

取得可能な資格・免許

■ 司書　■ 学芸員　■ 児童指導員任用資格　■ フードスペシャリスト　■ レクリエーション・インストラクター など

卒業後の進路

[一般企業] ● 銀行・証券・保険 ● アパレル ● ブライダル ● 観光・ホテル・航空 ● 放送・広告 ● 出版・印刷 ● その他の接客業・販売業
[資格・専門職] ● 企画・広報職 ● 編集者・ジャーナリスト ● マーケティングプランナー ● コンサルタント ● 商品バイヤー ● ツアープランナー ● ウエディングプランナー ● ファッションバイヤー
[その他] ● 大学院進学 など

求める学生像　※アドミッションポリシー抜粋

○ さまざまな現代文化に関心を持つ、好奇心旺盛な人
○ インタビューやアンケートなどの取材（社会調査）の手法に関心がある人
○ 周囲の意見に流されない自分の考えを持ちたいと思う人

学びの特色　※カリキュラムポリシー抜粋

○ 実社会で活躍する女性の講演を聞き、現代文化の特徴を知る。
○ 自分が関心のあるテーマを決め、掘り下げて調査・分析・発表する。
○ 社会学の技法を用いて社会現象や社会問題を分析する能力を身につける。
○ 現代文化を通して人間の行動や社会のしくみを深く見つめる。
○ 幅広い視野で物事を多面的にとらえる社会学的思考力を学ぶ。

専任教員紹介

有本 尚央［文化社会学、フィールドワーク］
池田 太臣［メディア文化論（マンガ、アニメ、ファン行動）］
柏原 全孝［スポーツ社会学、コミュニケーション論］
河原 和枝［文化社会学（ファッション、消費文化）］
木村 至聖［文化社会学、地域社会学（文化遺産、ミュージアム）］
佐伯 勇［デジタルメディア論（SNS、セキュリティ）］
島田 幸絵［雑誌編集者（グルメ、レジャー、テレビ、映画、音楽）］
原田 隆司［ボランティア論、フィールドワーク］
細辻 恵子［家族社会学（子ども文化、育児書比較）］
米澤 泉［女子学（化粧文化、ファッション文化、雑誌）］

2020年3月現在

CURRICULUM カリキュラム

4年間で身につく力　※ディプロマポリシー抜粋

- ○ 文化と社会に関する幅広い教養を獲得し、人と人との結びつきを明らかにできる。
- ○ 自らの関心を掘り下げて問題を設定し、論理的に分析することができる。
- ○ 社会現象や社会問題に関心を向ける態度や、批判的思考の態度を身につける。
- ○ 社会生活の多様な経験と、社会学の知見を総合し、社会現象や社会問題に対する考え方を提示することができる。

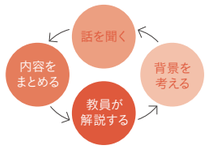
1年次	2年次	3年次	4年次
身近な現代文化を知り その背景を探る	人間の行動や社会を より深く探る		興味ある現代文化を テーマに研究する
全学共通科目　※詳細はP54をご覧ください			
文化社会学科の学びへの入門	人の行動の背景を見つめる	文化を通して社会を考える	【卒業論文・卒業制作】自分なりの視点で1つのテーマを追究する

専門基礎科目

□ 総合科目・文化社会学Ⅰ・Ⅱ

現代文化のさまざまな分野で活躍中のプロフェッショナルから、現代文化のおもしろさとその背景を学びます。

○ 授業の流れ



現代社会の教養を身につけ、社会学的に考える
□ 現代社会論

家族の「あたりまえ」を疑う
□ 家族社会学

CLOSE UP 1

問題発見、報告、討論の方法
■ 文化社会学基礎演習Ⅰ・Ⅱ

社会学の技法を習得
調べ方やまとめ方など、大学での学びに必要な基礎を身につける
調査方法やレポートのまとめ方、発表方法など、大学での学びに必要なスキルを習得します。

文化と社会の相互関係
■ 文化社会学概論

都市の成り立ちと人間関係
□ 都市社会論

身近な「信仰」を読み解く
□ 現代宗教論

ボランティアの限界と新たな可能性
□ ボランティアネットワーク論

エンタテイメントの世界 つくる・伝える・楽しむ方法
□ エンタテイメント論

大人でも"かわいい"を求める「女子」の時代
□ ファッション・ビューティー論

CLOSE UP 3

売るしくみ、売れるしくみを理解する
□ マーケティング論

「男らしさ」「女らしさ」とは何か？
□ ジェンダー論

観察、アンケート、インタビュー調査の方法
■ 社会調査入門

インタビュー調査の実践
□ フィールドワーク演習

CLOSE UP 2

パソコンを活用した調査と発表の方法
■ 文化社会学情報演習

図解とプレゼンテーションの技術
□ マルチメディアの方法

仲間とともに興味あるテーマを追究

ゼミや専門科目でこれまでの学びを振り返りつつ、さまざまな現代文化を通して人間の行動や社会のしくみをより深く見つめます。

社会学的思考の基本を学ぶ
□ 理論社会学

身近なテーマから考える現代のコミュニケーション
□ コミュニケーション論

流行と消費の文化を探る
□ 文化社会論A

何でも文化遺産にしてしまう現代社会
□ 文化社会論C

スポーツという文化現象
□ 文化社会論D

若者の視点から社会問題について考える
□ 文化社会論E

メディアにおける女性表現について
□ 文化メディア論A

マンガがわかると時代がわかる
□ 文化メディア論B

ファッション誌に見る女性の生き方
□ 文化メディア論D

■ 文化社会学演習Ⅰ・Ⅱ(ゼミ)

演習（ゼミ）は自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて発表する授業です。学生同士が刺激し、高めあう場です。

卒業研究で ひとつのテーマを選択

■ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ

最も興味ある分野を選び、研究テーマを決定します。少人数のゼミで個別指導を受けながら、本や資料を読む、インタビューで生の声を集める、雑誌や新聞の記事を分析するなど、実際に調査を行い、自分なりの答えを見つけます。

卒業研究テーマ例

- 銭湯経営のエスノグラフィー
- なぜ、神戸に喫茶店文化が根付いたのか
- プレ花さんと卒花さん —SNS時代における花嫁の長期化—
- 「顧客満足」の接客条件 〜つぶやきから見る消費社会〜
- インスタグラムは女子大生のメイク選びをどう変えたのか？
- ギャルは消滅してしまったのか
- YouTube化する社会
- ドラマ『わたし、定時で帰ります』から見る現代女性の人生観
- ポケモンに学ぶコミュニケーション力
- エンターテイメントにおける日本文化の課題 —ディズニーとBTS—
- 深刻化するチケット不正転売 〜音楽業界とファン心理から考える〜
- 「アトラクション」としてのタピオカドリンク

■ 必修科目　□ 選択科目　（2020年度入学生用カリキュラム）　科目名は代表的なもののみ掲載しており、一部変更になる場合もあります。

CLOSE UP クローズアップ授業

CLOSE UP 1 文化社会学基礎演習Ⅰ・Ⅱ

大学で学習を進めるうえでの基本的な能力を育成

特定のテーマを選択して掘り下げ、研究結果を発表します。問題発見から調査・発表、討論、レポート作成まで、大学で学習を進めるうえで基礎となる能力を養います。

CLOSE UP 2 フィールドワーク演習

学生主体であらゆる準備を進め、現場で生の声を聞く

研究内容に応じて、さまざまな場所でインタビューや観察調査を実施。取材先の選定やアポイントメントの取りつけ、取材など、学生が自分の力で取り組みます。

CLOSE UP 3 ファッション・ビューティー論

装いの文化を読み解き、現代社会の状況や女性の生き方を考える

時代によって移り変わるファッションや化粧を分析し、社会背景を考察。日常的な文化を新たな視点でとらえつつ、女性が置かれている状況や生き方について考えます。

文化社会学科の特徴的な学び

コミュニケーション力や行動力、問いを見つける観察力が身につく「フィールドワーク」

現地でインタビューやアンケートなどの調査を行うフィールドワークで、質問内容の設定や取材の依頼、データの分析などを通じて、実践的なコミュニケーション能力と問いを見つける観察力を養います。また、調査の結果を発表する場も多く、学外での活動や将来の仕事に役立つプレゼンテーションスキルが身につきます。

❶ 研究テーマの決定
自分が興味・関心を持っている対象を検討。フィールドワークによって掘り下げたいテーマを決定します。

❷ 事前調査
図書館の蔵書やインターネットを活用し、さまざまな資料を参照しながら、テーマについて理解を深めます。

❸ フィールドワーク
取材先を選んで、現場での観察や当事者に対するインタビューを行い、情報を収集します。

❹ 考察・プレゼンテーション
集めた情報を整理し、分析を進めます。研究結果から得られた結論は、ゼミで発表します。

卒業研究
講義やフィールドワークを通じて培った知見をもとに、選択したテーマを追究。4年間の研究を集大成としてまとめます。

身体の所作について考える「美を磨くレッスン」

立ち方や座り方、歩き方、しぐさまで、プロのモデルの方から指導を受けます。所作を学ぶだけでなく、普段は意識していない自分の身体を意識することによって、身近なものを客観的にとらえる、社会学の学びに必要な視点を養います。

- ○慣れ親しんでいるはずの自分の身体が違って見え、気づきが生まれます。
- ○相対化して考えることで、物事を客観的にとらえる視点を身につけます。

収穫現場を訪れて体験的に学ぶ「真珠のフィールドワーク」

100年以上前に世界で初めて真珠の養殖に成功した、三重県の英虞湾を訪れました。現地の方から直接教わって真珠を取り出すことで、机上では学べないさまざまな苦労や工夫を実感。身近なものの成り立ちについて学びを深められます。

- ○長い期間養殖し、半数ほどしか収穫できない真珠養殖の手間や工夫を実感。
- ○日常にある素材を生み出すために働く人々や、その工夫について知識が深まります。

街にある魅力を発見「ワンダーマッピング」

知らない街でおもしろいものを探し出すフィールドワークを行います。発見したものを撮影し、その写真をワークショップで共有。地域の人々との交流を通して、歴史や文化についても学びます。

- ○普段は意識していない街の風景を新たな視点でとらえる力が育ちます。
- ○さまざまな場所や地域を調査することで視野が広がります。

卒業研究紹介 >>

調査をふまえて現場の人の声を聞くことで、慣れ親しんだ場所の魅力を再発見できます。

小柳津 璃子さん［4年］ 大阪／私立 大阪学院大学高等学校出身

ゼミではほかの学生とともにフィールドワークを行い、発表会で各自の発見を共有するなど、充実した日々を過ごしています。現在は、社会における銭湯の役割について研究をしています。家族が銭湯を経営しているため身近なテーマではあったのですが、従業員の方にお話を伺い、ニーズや客層の調査を進めるなかで、施設自体を客観的に考えられるように。サービスの裏側にある工夫や、地域のコミュニティ形成に貢献する機能などに注目し、その価値を再認識することができました。

内定者・卒業生インタビューは5月発行の「大学案内2021 Complete Edition」に掲載！

主な就職先（2019年3月卒業生）

株式会社三菱UFJ銀行／関西みらい銀行／尼崎信用金庫／京都北都信用金庫／SMBCコンサルティング株式会社／明治安田生命保険相互会社／日本郵便株式会社／ローム株式会社／東ソー株式会社／株式会社ジュピターテレコム／サントリービバレッジサービス株式会社／住友不動産販売株式会社／MS&AD事務サービス株式会社／アルインコ株式会社／学校法人神戸学院 神戸学院大学／一般社団法人姫路市医師会／市立芦屋病院／グリーン大阪農業協同組合／兵庫西農業協同組合　など